



# 安心の拠り所

2007 DEC

ELDERS vol. 33

社会福祉法人

# 年長者の里

URL : <http://nenchousha.com> E-mail : [elders@nifty.com](mailto:elders@nifty.com)

発行者
芳賀 晟壽
編集者
池上 謙吾
住所
北九州市八幡東区大蔵3丁目2-1
TEL (093) 652-3939
FAX (093) 652-3999

## 介護現場の窮状を説明

### — 芳賀理事長、厚労省に陳情 —

全社協の会合に出席のために上京した当年長者の里 芳賀理事長は、高齢者福祉事業協会会長として、11月1日、厚生労働省の西川京子副大臣を訪ね、高齢者福祉の現場の状況を説明しました。

副大臣執務室で西川副大臣と面談した芳賀理事長は、要介護高齢者が急増する状況の下で、介護報酬の抑制で、介護に携わる者の

待遇改善が極めて困難であり、これに伴う人手不足の慢性化など、介護の現場が極めて厳しい状況に陥っている現状を説明。国として一刻も早い改善への取り組みをお願いしたいと、窮状を訴えました。

また、芳賀理事長は副大臣に、北九州への来訪を要請、11月23日には(社)北九州高齢者福祉事業協会主催により、『副大臣を囲む会』を



厚生労働省西川副大臣と

北九州で開催する運びとなりました。この後、芳賀理事長は老健局の古都(ふるいち)賢一振興課長にも面談(写真下)し、高齢者福祉施策の改善を要請しました。



厚生労働省老健局振興課 古都課長と

古都課長は、北九州とは縁が深く、再三来北された経緯があります。介護保険制度のスタートに当って全国の他都市に先駆けてスタート

した「北九州高齢者福祉事業協会」の発足への取り組みについても同氏にご支援を頂き、講演会講師としてもご協力頂きました。

## トピックス 芳賀理事長、舩添氏にエール

当年長者の里 芳賀理事長は、参院選真っ只中の7月18日、選挙運動のために出身地の北九州を訪れた舩添要一候補(現:厚生労働大臣)と会い、「高齢者福祉の現場は非常に厳しい。選挙戦を頑張って頂き、高齢者福祉の現場が抱える課題に対して理解あるご支援を頂きたい。舩添さんを応援します。」とエールを送りました。



現厚生労働大臣の舩添参議を激励

## 「和」と「モダン」をコンセプトに

### 大蔵園デイサービスがリニューアル

平成元年に開設された大蔵園デイサービスはこのほど全面改装を行い、ご利用者の皆様には今まで以上に「くつろぎ」と「暖かさ」を楽しんでいただけるようになりました。

玄関を入ると料亭のような雰囲気とともに心地よいBGMが流れています。施設内はベージュとチョコレート色を基調に、木質、障子、和紙を利用した照明など“暖かさ”を強調、全体にしっとりとした落ち着いた空間に生まれ変わりました。

改装された大蔵園デイサービスには、防音仕様のカラオケルームも設置、お風呂もジェットバスやジャグジ

ーバスなど、三種類の個室浴槽で、快適なお風呂をお楽しみいただけるものと思います。見学や一日体験は、下記までお気軽にご相談ください。

電話 652-2200

- 主な設備
- ◆防音仕様のカラオケルーム
  - ◆ゲームソフト・インターネットが楽しめる、パソコン2台
  - ◆ジェットバス・ジャグジーバスなど、三タイプの個室浴槽
  - ◆マッサージチェア2基
  - ◆いつでも煎れ立てのコーヒーが楽しめるコーヒーコーナー ほか



大型壁掛式テレビもお楽しみ下さい



私たちが心を込めてお迎え致します

# お困りの方お電話ください

## 〈たすけあいワーカーズ事業ご紹介〉

この「たすけあいワーカーズ」事業は、支援(お手伝い)を必要とするお年寄りへの元気なお年寄りによる「老々支援」事業です。

庭の草取りや樹木の剪定作業、簡単な大工仕事、入院したときなどの身のまわりのお世話、さらに、炊事や洗濯、定期的なお買い物のお手伝いなど、日常生活で支援が必要な方に、元気で時間に余裕をお持ちのシルバー世代のワーカーさんが訪問して、自立生活を応援いたします。

現在、大蔵近郊にお住まいの50

代から70代の方々10余名がワーカーにご登録頂いて、ご不自由な皆さまのご要望に応じてお手伝いいたしており、ご利用者の皆さんも「余り変わらない年代のワーカーさんだからお話しやすく安心」と大変喜んで頂いています。

「ワーカーとしてお手伝いできますよ」とお考えの方、また「お手伝いをしてくださる方はいないだろうか」と、お困りの方、下記へお電話ください。

**助け合いワーカーズ事務所**  
電話 652-2388

# 年長者の里に勤めて

\* 羽田野 秀美



私は高校を卒業してからこれまで年長者の里で働かせて頂きました。

ここで過ごした中で最も心に残っていること、出来事は、秋篠宮両殿下が、ご来訪されたこと、紀子様のお笑顔がとてもお美しかったことです。

その翌年には法人設立50周年記念の大きな催しがあり、この時に法人名も「西峰会」から「年長者の里」に変更されました。この二大イベントが心に残っています。

その他に、毎年の納涼祭やわっしょい百万夏祭りの踊りなど、楽しかったことが次々に思い出されます。

でもやはり、自分の身になり感謝していることは、自分に任された仕事

のことが一番ですね。理事長と常務の傍でお仕事をさせて頂いたこと。常務からは色々な仕事を勉強させて頂きました。そして、温かい職員の皆さん、私は皆さん一人一人からとても大切なものを頂き、成長することができたと思います。

私は、年長者の里の皆さんが大好きです。私は今回、自分の新たな道を目指すために退職することになりましたが、また、ご縁があれば皆さんにお会いしたいと思っています。

今まで本当にお世話になり、ありがとうございました。これからも、ますますご活躍ください。

**ドクターよりひとこと**  
16

## インフルエンザの予防

年長者の里 たつのおとしクリニック  
院長・医学博士 小野 隆 生

インフルエンザは重症化する病気です。毎年インフルエンザの流行によって、肺炎などで死亡する人数は人口10万人あたり10人を越えています。そのほとんどが65歳以上の高齢者です。また、インフルエンザは脳炎を引き起こすことが知られ、これによって死亡した子供は、年間200人に達します。インフルエンザにかからないように予防することが大切です。流行前にワクチン接種を受けましょう。

予防の基本は、流行前にワクチン接種を受けることです。通常、インフルエンザの流行は年末から始まります。11月中にワクチン接種を受けるようにしましょう。13歳以上の方は1回接種です。13歳未満の方は1~4週間の間隔をおいて2回接種が必要です。生後6ヵ月未満の乳児にはワクチンを接種しません。

### ＜インフルエンザに罹ったら＞

- ・症状の特徴は？  
いわゆる風邪とは異なり、インフルエンザの場合は38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強く、あわせて普通の風邪と同様の、のどの痛み、鼻汁などの症状も見られます。  
・診断はどうやって行うのでしょうか？  
医療機関では、インフルエンザウイルス抗原を検出するための迅速診断キットが普及しており、通常30分以内に結果を判定できます。
- ・治療方法は？  
インフルエンザウイルスに対する治療薬の抗ウイルス薬は、医療機関で診察の上で使用できます(下記注意事項をご確認ください)。  
また、熱を下げるために解熱剤が使われますが、インフルエンザに罹っているときには使用を避けなければならないものがあり、医療機関で確かめてください。
- ・かかってしまったら学校や職場に行かない方がよいのですか？

症状が出てから3~7日間は他の人へうつす可能性が高いので、人の多く集まる場所は避けてください。また、マスクをするなど、周囲の人へうつさないように配慮が必要です。

- ・小児や未成年者がかかった場合  
インフルエンザにともなう異常行動のおそれがあるため、少なくとも2日間は、一人にならないよう配慮することが必要です。

### ＜インフルエンザにともなう異常行動について＞

インフルエンザにかかった場合、「タミフル」の服用にかかわらず異常行動が出現する可能性があり、小児・未成年者が一人にならないよう配慮することが必要です。

### ＜インフルエンザ治療薬「タミフル」について＞

厚生労働省は、以下のような内容で薬剤会社に対して、緊急安全性情報の発出および添付文書の改訂を指示しています。

「10歳以上の未成年の患者においては、因果関係は不明であるものの、本剤の服用後に異常行動を発現し、転落等の事故に至った例が報告されている。このため、この年代の患者には、合併症、既往歴等からハイリスク患者と判断される場合を除いては、原則として本剤の使用を差し控えること。また小児・未成年者については、万が一の事故を防止するための予防的な対応として、本剤による治療が開始された後は、異常行動の発現のおそれがあること、自宅において療養を行う場合、少なくとも2日間、保護者等は小児・未成年者が一人にならないよう配慮することについて患者・家族に対し説明を行うこと。なお、インフルエンザ脳症等によっても、同様の症状が現れるとの報告があるので、上記と同様の説明を行うこと。」



## わがまちの地域福祉と福祉経営 14

### ～利用者の満足と職員の満足を目指す経営～

西日本工業大学 工学部 環境建設学科 教授 皆川 重男



#### ◆はじめに

前回「老いを迎えることは病気ではないのだから、病院風ではダメです。高齢者の健康で快適な暮らしに焦点をあて、提供する介護サービスや居住空間の質は『ホテル型』を目指しては」と述べました。しかし、「従来の暮らしの環境で出来るだけ今まで通りの生活をするのが、最高の福祉サービスではないのですか」といった基本的な指摘を受けました。

家族から社会・地域へ、介護の担い手の転換を目指したのが介護保険制度の導入でした。しかし、地域コミュニティを失った都市生活において、高齢者介護は、「社会」というより「事業者」が担うものになっています。その事業者が提供するサービスの質を象徴してホテル型という言葉に集約したに過ぎません。

#### ◆サービスの質は安心と信頼

高齢者だけでなく、その家族、そして地域住民の不安に対し、「安心と信頼」を仕事のなかで広げることが、福祉という仕事への誇りと「経営」の生き残りを生み出すこととなります。行政の果たすべき役割と責任についても、地域ニーズを土台に活動を強めなければなりません。老老介護などが生み出す悲劇を断ち切ることが重要です。

だからこそ、提供する「福祉サービス」の品質を維持向上させる体制やしきみを、組織内に構築することが求められます。これまでも繰り返

書きましたが、福祉サービスは、人が人に対して行う「行為」のサービスです。経営学ではサービスは生産と消費が同時に発生する商品だと説明しています。「目に見えない」「一度提供されると元に戻れない」等の特徴があります。このため、特に、福祉サービス提供におけるプロセスに着目し、サービスの品質管理、安全管理、危機管理のためのシステムの構築が重要となります。また、利用者からの要望・苦情等を、速やかにサービス提供にフィードバックできるようにしくみづくりも必要となります。

#### ◆利用者満足は職員の満足から

「利用者満足」を追求して利用者が望むサービスを提供するためには、「職員満足」を追求して、生き生きとした意欲あふれる職場づくりが欠かせません。職員が自己実現や組織としての理念達成に向けて、仕事に対する高いモチベーションを持ち、業務に対する達成感を味わえるような組織づくりが挙げられます。

特に、福祉サービスとは、言うまでもなく対人サービスであり、そのサービスを提供する人の知識、能力、技術、さらにはその仕事に対する取り組み方によって、サービスの良し悪しが決定されてしまうのです。

従って、組織として必要なことは、職員が生き生きと満足して働ける環境を整備することであり、職員個人のさらなる能力、意欲の向上が図れる体制を構築していくことです。

# 芳賀理事長、北橋市長と対談 『高齢者に安心のまちづくり』

芳賀理事長はこのほど、北橋健治北九州市長と、市の高齢者福祉について意見交換しました。

この対談の中で芳賀理事長は、福祉は『サービスが先で利益は後』でなければならない。福祉は労働集約型の産業であり合理化が出来ず、多くの人々の『優しい手』に支えられている。しかしながら、現状は人手不足が深刻で高齢者を支える手が激減、福祉は危機的な状況になっています。海外からの、“優しい手”の就労を促す施策も一つの方法、と、福祉事業が現在抱える課題と将来



のあり方について意見を述べました。

北橋市長は、「日本一の福祉のまちづくりを目指します。」と語り、芳賀理事長は、地域の皆さんに安心できるシニアライフをご提供できるよう頑張りたいと話しています。

(平成19年8月30日付 毎日新聞より)

# 秋晴れの下、海浜散策と 海産物お買物を満喫 ケアハウス八幡

10月22日、ケアハウス八幡では、入居者の皆さん34名が参加されたのバスハイクを実施しました。

今回は若松区の「北九州かんぽの宿」で海を見ながらの海鮮料理を楽しんで頂く企画で、文字通りの秋晴れに恵まれ、満開のコスモスを車窓に眺めながら目的地へと向かいました。

まずは、かんぽの宿での昼食。海を眺めながらの海鮮料理を堪能されていました。昼食の後は、海産物が並ぶ施設内の売店でお買い物を楽しみ、途中「汐入の里」で一休み。ここは、地元の新鮮な農産物や海産物が並ぶ人気の買物ス



ポット。皆さんも両手にいっぱい海山の幸のお買物を楽しんでおられました。きれいに整備された脇田海岸で記念撮影のあと心地よい海風の中での散策に、どなたも10歳は若返られたのではないのでしょうか。バスの中でも「久しぶりに海が見られて良かった」「昼食も美味しかったね」などと話題が弾んでいました。

# 藤瀬さんと池口さんが健闘

## 第37回 電話対応コンクール

9月11日、大谷会館で電話対応コンクール北九州地区大会が開催されました。13社27名が参加したこの大会には、当「年長者の里」から、藤瀬はるなさん(正寿園介護職員)と池口香織さん(大蔵園介護職員)が挑戦。2人は、仕事を終えた後時間を取って練習に励みましたが、いま一歩及ばず、入賞を逃してしまいました。

審査委員長を勤められたNHK北九州放送局の三上チーフアナウンサーは総評で、「クレーム電話の場合は、相手の気持ちになって適



コンテストを終え芳賀理事長と記念撮影池田さん(左)と藤瀬さん(右)

切な言葉遣いができないと、相手を怒らせてしまって、問題をより大きくしてしまうことがある。気持ちは声に現れるから電話の場合は特に誠実さが重要。」と電話のマナーについて話されました。

# 芳賀理事長、八幡製鐵所創世記を語る

北九州イノベーションギャラリー  
オープニングシンポジウムで

北九州市が新日鐵八幡製鐵所の協力を得て今年4月にオープンした北九州産業技術保存継承センター、通称『北九州イノベーションギャラリー』のオープニングシンポジウムが、9月16日に開催され、芳賀理事長が、官営八幡製鐵所の誘致運動の経緯について特別講演をしました。

この官営八幡製鐵所の誘致と建設の状況については、芳賀理事長から資料などの提供を受けて地元



の直木賞作家佐木隆三氏が発表した『官営八幡製鐵所の建設に奔走した男 田中熊吉伝』にも紹介されています。

# おめでとう

## 私たち結婚しました



岡嶋博子さん  
平成19年9月9日  
グループホーム八幡  
契約介護職員  
旧姓:田上



道上瑠人くん  
平成19年6月18日  
大蔵園  
機能訓練指導員  
道上大輔さん長男

## II 誕生で〜す



藤川葉愛ちゃん  
平成19年4月10日  
グループホーム八幡  
介護支援専門員  
藤川隆さん次女



菊永愛裕ちゃん(お兄ちゃん)  
平成19年6月21日  
パレス六生 生活相談員  
菊永圭一さん長女

(H19.4~H19.9現在)

# 火の用心

## ケアハウス八幡で 大掛かりな消防訓練

10月3日、八幡東消防署とケアハウス八幡合同による、大掛かりな消防訓練が行われました。

火災発生から、年長者の里職員による火元確認、初期消火、火災通報、入居者の皆さんの避難誘導、そして、八幡東消防署の消防士の皆さんによる、消火活動、ハシゴ車による逃げ遅れた方や負傷者の救出活動、更に、レスキュー隊によるロープを使っての屋上からの救出訓練などが行われました。

八幡東消防署の宮生署長は、訓練終了後の講評の中で、「いざ



という時適切に行動するためには、日頃の訓練が大切。長崎県大村市のグループホームでの火災など、夜間の火災が怖い。訓練を重ねること、絶対に火災を起こさないよう予防に取り組んで欲しい」と注意を促しておられました。

# いきいき広場

## 敬老の日行事に、笑顔が満開

### ボランティアの皆さんありがとう

9月17日の敬老の日、年長者の里の各施設には、今年も多くのボランティアの皆さんにおいでいただき、歌や踊り、太鼓など色々な芸能を披露して頂きました。

グループホーム八幡では、地元の乳山八幡神社に伝承される祇園太鼓が披露されました。豊町の太鼓保存会「蔵」の皆さんが、普段は八幡神社の祭礼行事でしか見られない祇園太鼓の元気一杯の撥(ばち)さばきを披露して下さいました。「皆さんも太鼓を叩いてみませんか」と呼びかけられて、元気に太鼓を叩いたり、撥を両手に踊りだす方もおられ、楽しい敬老の日行事になりました。



この他、各施設にボランティアの皆さんが入り敬老の日を祝って下さいました。ボランティアの皆さんありがとうございました。

地域町内会主催の盆踊りでは、地域の小さな子供さんたちに混じって、ご利用者も多数参加され、大きな踊りの輪ができていました。今年も、千人を超える多くの皆さんにご参加頂き、心行くまでお楽しみいただいたと思います。



里の職員が趣向を凝らした、カレーライスやかき氷、フルーツソーセージなどの露店は、どこも長蛇の列が出来ていました。



用意されたテーブルでは、施設ご利用者の皆さんが、お孫さんやひ孫さんなどと歓談、明るい笑顔がはじけていました。

盆踊りの太鼓や音楽が流れると、町内の皆さんや子供さんに混じって、ご利用者の皆さんも一緒に踊っておられました。

今年のスペシャルイベントは、「愛

の一座」の皆さんのものまね歌謡ショーでした。“美川憲二”さん“若戸大橋幸夫”さん“袋小路白身磨”さんらが次々に歌や漫談で、会場を沸かせていました。すべしやるイベントの最後は、会場の皆さんと一緒に、ヒット曲「いつでも夢を」を熱唱。ゲストが会場の皆さんにマイクを向けると、皆さんも元気な声を披露されていました。



納涼祭の最後は恒例の花火大会。見事な光のナイヤガラ瀑布と、噴水花火に皆さんしばし見とれていらっしゃいました。

今年も多くの皆さんにご参加いただき、スタッフも心から感謝しております。

## お芋がたくさん掘れました

### ケアハウス八幡で芋掘り会

11月13日、ケアハウス八幡では、芋掘り会を開催しました。

いきいき広場の東側に、園芸担当の瓜生さんが開いて下さった芋畑です。これまでに、グループホーム八幡や大蔵園の皆さんも芋掘りを楽し



しましたが、この日は今年最後の芋掘り会で、ケアハウスの皆さんが挑戦しました。

瓜生さんがスコップを入れ、ケアハウスの皆さんが掘り起こすと、正に“芋づる”となって、大きなお芋がごろごろ連なって出てきました。

秋の好天の下、参加された皆さんの「大きいね」「たくさん入っているね」「このお芋どのようにして戴くのが一番美味しいかね」「大学芋も美味しいね」「クリキントンもいいね」「焼き芋大会もいいですね」など、明るい声がいつまでも弾んでいました。

## ボランティアありがとう

### あひる八幡東ブロックさん トイレカバーをありがとう

ケアハウス八幡に入居されておられる奥村具子(ともこ)様はじめ、ボランティアグループ「あひる八幡東ブロック」のみなさんが、このほ

ど洋式トイレのカバーを作ってくださいました(写真)。大蔵園の各部屋には居室に洋式トイレが設置されていますが、これまでカーテンで目隠しをしただけで、ドアが開いているときなど、カーテンの裾から便器が見えてしまうことから、「あひる八幡東」の皆さんがトイレカバー16枚を作して下さいました。奥村さんたちは、週1回、日程を申し合わせて集まり、少しずつ作っ

て下さいました。カバーの布柄もグループの皆さんに選んでいただき、大蔵園の亀井郁子園長は、「プリント模様がとても可愛らしく、部屋も明るくなりました。入所されている皆さんだ



けでなく、訪問されるご家族の皆さんにもきっと喜んでいただけます。」と、大変感謝しています。



この他、各施設でいろいろな行事がありました。